

(12) 沖縄



沖縄地域では、景気は新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和されつつあるものの、持ち直しの動きに弱さがみられる。

- ・ 観光は持ち直しの動きがみられる。
- ・ 個人消費は一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる。
- ・ 雇用情勢は感染症の影響が残る中で、弱い動きとなっているものの、求人等の動きに底堅さもみられる。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す(は上方に変更、 は下方に変更)。

前回からの主要変更点

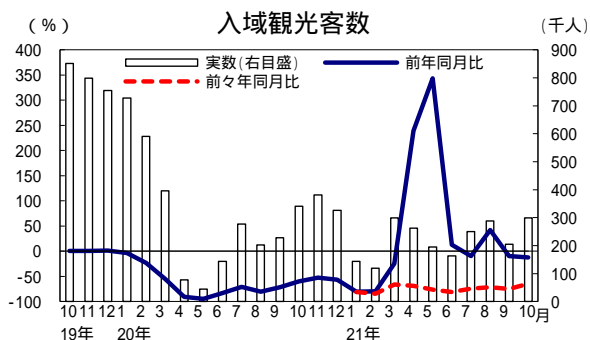
	前回(令和3年8月)	今回(令和3年12月)
景況判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあり、弱い動きとなっている	新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和されつつあるものの、 <u>持ち直しの動きに弱さがみられる</u>
観光	弱い動きとなっている	<u>持ち直しの動きがみられる</u>
個人消費	サービス支出を中心に弱い動きとなっている	一部に弱さが残るものの、 <u>持ち直しの動きがみられる</u>
雇用	感染症の影響により、弱い動きとなっているなかで、求人数等の動きに底堅さもみられる	感染症の影響が残る中で、弱い動きとなっているものの、求人等の動きに底堅さもみられる

1. 観光の動向

観光は持ち直しの動きがみられる。

7 - 9月期の入域観光客数は、前年同期比5.1%増(前々年同期比73.4%減)となった。国内客は5.1%増となり、外国客は入国制限措置の継続等により皆減であった。月別でみると、7月は前年同月比9.7%減、8月は同42.1%増、9月は同10.0%減(前々年同月比でみると、7月は74.0%減、8月は71.8%減、9月は74.7%減)となった。10月は前年同月比12.4%減(前々年同月比64.9%減)となり、9月に比べて前々年同月比のマイナス幅が縮小した。

7 - 9月期のホテル稼働率は、前年同期差2.1%pt減となった。



	2021年			2021年
	1-3月	4-6月	7-9月	10月
入域観光客数(千人)	562	621	744	299
(前年比、%)	67.2	133.9	5.1	12.4
ホテル稼働率(%)	22.1	22.3	25.2	
(前年差、%pt)	36.3	14.1	2.1	

- (備考) 1. 入域観光客数は沖縄県観光政策課調べ。
 2. ホテル稼働率は日本銀行那覇支店調べ。
 3. ホテル稼働率の前年差については、内閣府にて算出。

2. 個人消費の動向

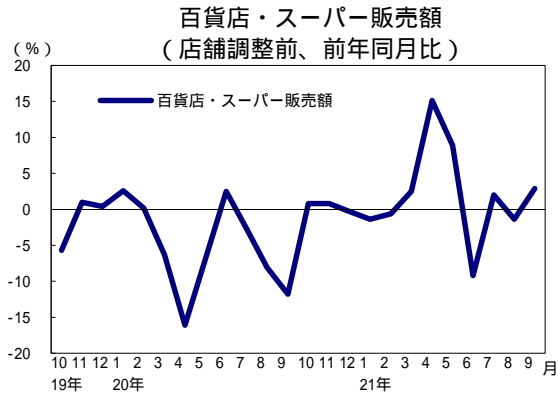
個人消費は一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる。

(1) 地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

7 - 9月期は前期比 1.8%減となった。月別にみると、7月は前月比 2.1%増、8月は同 0.8%減、9月は同 5.8%減となった。

(2) 百貨店・スーパー販売額

百貨店・スーパーは、7 - 9月期は前年同期比 1.1%増となった。月別にみると、7月は前年同月比 2.0%増、8月は同 1.4%減、9月は同 2.9%増となった。



	2021年7-9月	2021年7月	8月	9月
RDEI (消費*1)	1.8	2.1	0.8	5.8
百貨店・スーパー(*2)	1.1	2.0	1.4	2.9
コンビニ(*2)	3.9	0.7	4.9	6.4
乗用車(*3)	20.0	10.4	10.1	39.4
(季節調整値)(*3)	0.8	23.0	12.0	28.0

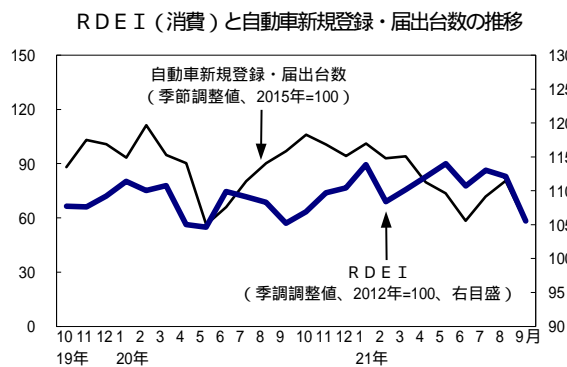
(備考) 1. 季節調整済前期(月)比 (%)

2. 前年同期(月)比 (%)

百貨店・スーパーは経済産業省調べ(店舗調整前)

コンビニは日本銀行那覇支店調べ

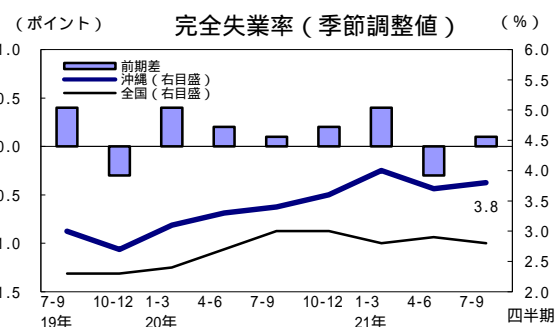
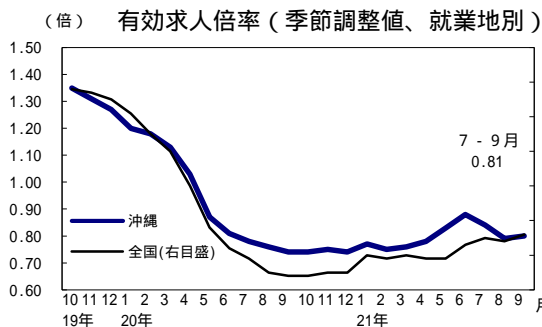
3. 乗用車は、乗用車新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比 (%))



3. 雇用情勢

雇用情勢は感染症の影響が残る中で、弱い動きとなっているものの、求人等の動きに底堅さもみられる。

有効求人倍率は低下している。完全失業率は前期を上回っている。



(備考) 沖縄県「労働力調査」の月次値を、内閣府にて四半期平均化。

(13) 景気ウォッチャー調査 (令和3年10月調査) 景気判断理由の概要

12. 沖縄

(良、 やや良、 不変、 やや悪、 ×悪)

	分野	判断	判断の理由
	現状	家計 動向 関連	
			・住宅建築に関する相談件数が、増えもせず減りもせずといった状況にある(住宅販売会社)
			・前月より来客数が増加しており、それに伴い売上も増加している。特に夜帯の来客数と売上が共に伸長傾向である(コンビニ) ・緊急事態宣言が解除となり、週末を中心に郊外の総合スーパーに客が流れ苦戦する。また、巣籠り需要も減り、買上点数も伸び悩む(スーパー)
企業 動向 関連			・新型コロナウイルスの新規感染者数は大幅に減少しているが、企業の設備投資が回復するには時間を要すとみられ、見積り、受注は現状で大きな変化はない(窯業土石業)
			・緊急事態宣言が解除になり、これまで低調だった観光関連及びホテル向け需要が伸びてきている(食料品製造業) ・以前から打合せを進めていた客が、やっと契約になる(建設業)
雇用 関連		・緊急事態宣言が解除されて人の動きが良くなり、景気も改善していくのではないかと(人材派遣会社) ・10月初旬頃から緊急事態宣言解除後の経済活動の活発化に向けて採用活動を再開した企業が多く、月間を通して求人数が増加している。3か月前と比較し、求人数は40%増加している(求人情報誌製作会社) ・前月と比較して、状況に特別変化はないとみられる(学校[専門学校])	
その他の特徴 コメント		：緊急事態宣言解除により徐々に入出が多くなっている。食料品を中心に商品動向は回復しているが、宝飾品等の動きは厳しい(百貨店) ×：現在新型コロナウイルスの影響による営業時間の短縮等も飲食店全体に響いており、大変苦慮している。ここ2~3日で解除されるので、それで少し良くなるとみている(商店街)	
先行き	家計 動向 関連		・新型コロナウイルスのワクチン接種率も上がり、今後規制解除に向かう飲食店や、観光客も増えるので期待している(一般小売店[酒])
			・ホテルの今月の販売室数は前年比72%減少なのに対し、今月末時点での1月の予約室数は前年比73%減少とマイナス幅がほぼ同じである(観光型ホテル)
	企業 動向 関連		・県内景気は基幹産業の観光に影響される可能性が高く、今後の新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、現状のまま推移すれば、確実に県内企業の販促活動も活発化するものとみられる(広告代理店) ・衆議院選挙後の社会の状況とそれに対する政策によるが、見通しが立たない(会計事務所)
			・年末年始の帰省や、観光客が戻ってくることを考えると良くなってくるとみるが、第6波次第では悪くなる可能性もある(輸送業)
	雇用 関連		・新型コロナウイルス感染の終息がみえて、居酒屋、ホテルなど観光関連の採用活動が少しずつ回復している(職業安定所)
その他の特徴 コメント		：全体的には良くなっていくように感じるが、飲食店、特に居酒屋はすぐには入客が戻らない。また、仕入価格の上昇、最低賃金の上昇、求人難、補助金の打切り、借金の返済が資金繰りを圧迫するので、よほど体力がないと廃業に追い込まれる店舗が増えそうである(その他飲食[居酒屋]) ：新型コロナウイルスの新規感染者数の激減に伴う各制限解除の影響により、先行きの予約状況が前々年と比べ悪いなりに伸長している。特に法人需要の回復が著しい状況である(その他サービス[レンタカー])	

(D I) 現状・先行き判断D I (沖縄) の推移 (季節調整値)

